

JAだより

9

2018

September

第123号

特集

養液栽培にチャレンジ



今月はよらんかいねえ広場のお買物券付き

表紙の写真
水耕栽培ミニトマト
(鶴来地区)

水耕栽培で育てたミニトマト「アンジェレ」。甘味と酸味のバランスが良いスナックタイプの品種。リコピンを豊富に含んでおり、ヘタがなく食べやすいため、子どものおやつにぴったり。





ハウスを使って養液栽培にチャレンジ！

JA白山のアグリサポート白山は地域農業の所得増大・生産拡大への取り組みとして、水稻の育苗が終了した後の育苗施設の空き時期や、遊休ハウスの方策として、JA全農が開発した養液栽培システムでのミニトマトとキュウリの試験栽培を行っている。

栽培管理が容易、かつ安価な栽培システムで、専用の栽培槽（発泡スチロール箱）に保水力の高い培養土を入れ、養液管理システムで液肥を混ぜた水を各栽培槽の苗ごとに設置されている点滴チューブによる灌水方法で生育している。灌水は自動設定でき、今回はエリアごとに朝7時から夕方17時まで15分おきに行っている。

ミニトマト234箱468本、

キュウリ63箱126本を栽培設置。ハウス内の温度管理に苦労しながらも、順調な生育が見られた。生育とともに高く伸びる茎を、上部の滑車から垂らしたヒモに這わせ斜めに誘引することで、一定の高さでの作業を可能にした。

7月中旬から収穫を始めたキュウリは、8月下旬新たな箱を設置。端境期の出荷を見込んでいる。

灌水の手間を省き、天気にならずに作業が行いやすく、長期的で計画的な出荷が見込めると期待されており、ハウスの空き時期の利用に限らず、土壌病害虫対策や農業法人等の年間雇用対策につながることも考えられる。

今後も栽培内容など、継続掲載する予定。

水耕栽培スケジュール

6/28

6/25

6/1



土入れ



苗設置



点滴チューブ

苗設置

専用箱に養液栽培用の混合土を入れ、蓋の穴に苗を設置。点滴チューブを指した。

組立

専用箱などを設置。



組立作業

ハウス内整地

排水の流れをスムーズに行うために高さを調節。雑草防止と作業しやすいようにシートを敷いた。



整地作業

(有)アグリサポート白山 ハウス栽培の取り組み

ミニトマト
栽培



キュウリ
栽培



◀現在の様子

茎が大きく育ち
ハウス内は森の
よう。トマトの
いい香りも漂う。

8月
下旬

トマト収穫開始 キュウリ苗設置

茎の誘引作業を行っていたため、高所の作業が比較的容易。キュウリも苗を再度設置し、生育を開始。

7月
中旬

キュウリ収穫開始

土に触れていないので、収穫の際汚れずスムーズに作業。直売所へ出荷した。

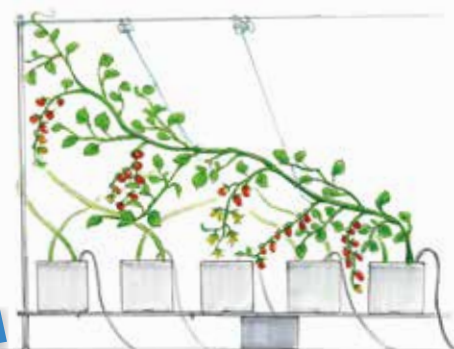
6/29

誘引ヒモ設置

茎が伸びてきた頃、高所での作業を減らすため誘引ヒモを設置し、茎を斜めに這わせていく。



設置完了！



誘引の様子



担い手農家を役員が訪問

J A 自己改革完遂の取り組み強化において、J A 白山の常勤役員は8月8日から担い手農家への訪問活動を行いました。9日、竹内組合長は蝶屋地区の(農)鹿島宮農組合の西田孝義代表を訪ね、J A 改革と担い手農家が抱える問題や要望、農業生産の拡大に向けた話し合いを行いました。

役員は8月中旬までに、認定農業者や専業農家62戸を訪ね、J A 改革の経緯や取り組み内容、総合事業の必要性と准組合員利用規制問題などを中心に話し合い理解を深めました。

また今年度は、従来の組合員総代との意見交換会から、組合員との対話集会に拡大実施する予定で、より多くの方のご意見を聞かせていただき、組合員皆様の意見をJ A 運営に反映させてまいります。



農協改革学習会を開催

8月4日、白山・松任・ののいちの3 J A 合同で、農協改革学習会を野々市市にて開催しました。各 J A 役職員や理事、関係団体など約200名が参加。中央会の牧専務、山田修治・山田俊男両参議院議員から J A 改革の狙いを取り組みの現状などについての講義を受けました。

牧専務は J A 改革の取り組みと進捗状況について、山田修治氏は農業情勢や農業生産コスト低減政策について話され、山田俊男氏は、政府の J A 改革について准組合員の利用制限や信用事業の代理店化などは強制的ではないと説明され、引き続き農業生産の拡大と担い手育成に注力してほしいと話されました。



理事会だより

第5回理事会
日時／平成30年8月28日(火)午後1時30分

審議事項

第1号議案 平成30年度 J A 米仮渡金および出荷奨励金について(可決)

平成30年度 J A 米仮渡金(コシヒカリ1等13、206円/俵、ゆめみづほ1等12、206円/俵等)および出荷奨励金(全銘柄・全等級に対し100円/俵)について審議し、その内容が承認されました。

第2号議案 蝶屋給油所改装工事について(可決)
蝶屋給油所改装工事について審議し、その内容が承認されました。

第3号議案 内部監査規程の改正について(可決)
J A 全中が制定する「J A 内部監査基準」が改正されたことに対応し、必要な見直しを行うため本規程の改正について審議し、その内容が承認されました。

第4号議案 内部統制システム基本方針の制定について(可決)
平成31年度からの会計監査人監査及び監事監査に対応するため、新たに制定する内部統制システム基本方針について審議し、その内容が承認されました。

第5号議案 コンプライアンス・マニュアルの一部改正について(可決)
コンプライアンス・マニュアルの改正について審議し、その内容が承認されました。

第6号議案 資産査定規程及び資産の償却・引当規程の改正について(可決)
平成31年度からの会計監査人監査の受検等に対応するため本規程の改正について審議し、その内容が承認されました。

報告事項

- 1 平成30年7月末事業実績について
- 2 水稲刈取り適期および共同乾燥施設稼働計画について
- 3 J A 内部監査基準の改正について
- 4 自店検査チェックリスト・重点実施項目の一部変更について
- 5 J A 白山リスクアセスメント調査結果についてその他
- 6 ①役員研修旅行について
これら6項目について報告しました。

営農だより



稲刈り始まる

8月19日、蝶屋地区を皮切りに管内の稲刈りが始まりました。

まず収穫されたのは早生品種「ゆめみづほ」。管内の作付け面積は130ha、共乾施設では300t以上を受け入れました。例年より梅雨明けが早く、水不足や猛暑による高温障害などが心配されましたが、品質は平年並みのようです。

この後は、酒米の「五百万石」うるち米の「コシヒカリ」「比咩の米」「ひやくまん穀」、もち米の「カグラモチ」「新大正糯」と10月まで収穫が続きます。

お米は品種によって粘りや甘み、食感など違いがあります。新米が続々と販売されるこの時期、ぜひ好みの味を探してみてはいかがでしょうか。



「白山ねぎ」出荷開始

産地ブランド化を目指している「白山ねぎ」は収穫期を迎え、これに合わせて8月21日、蝶屋ネギ集出荷場にてネギ部会員による夏ネギの目合わせが行われました。猛暑により生育が遅れているものの、品質は昨年並みに良いとのこと。この日選別された86ケースは、22日初出荷されました。

今年の作付け面積は4.3ha、約28、100ケースの出荷を見込んでおり、12月末まで出荷される予定です。

よらんかいねえ広場や収穫感謝祭でも販売しますので、地元産の野菜をご賞味ください。



よらんかいねえ広場出荷者協議会

秋野菜栽培講習会 開催

8月20日、出荷者協議会は秋野菜栽培講習会を本店2階にて開きました。伊藤会長より「今年は大変な夏だったが、よらんかいねえ広場の来店客数は昨年より10%伸びている。秋もいろんな野菜を作って出していこう」と挨拶の後、JAグループ営農戦略室の小田桐氏による講習会が始まりました。

残暑時の種蒔き・定植の注意点や品種の選び方、防除や施肥についての説明があり、参加者26名は熱心に聞き入りました。その後も多くの質問が寄せられ、品質向上・収量拡大に向けた有意義な会となりました。



女性部



夏休み 子ども料理教室

8月8日、蝶屋レディースメイ
トが「子ども料理教室」を蝶屋公民
館で開催しました。

メニューは「バナナオムレット」
「かわいいグミ」「オレンジバナナ
水玉かん」。包丁やお湯を使うので、
周りの大人はヒヤヒヤでしたが、
当の子ども達は楽しくクッキング、
美味しいスイーツが完成しました。
自分で作るとひと味違うようで、
あっという間に完食。夏休みの
楽しいひとときとなりました。



救命処置講習会

8月7日、手取支部は白山
消防署にて救命処置について
学びました。

「救急車が到着するまでに白山
野々市地区で7〜8分かかり、
その間の処置がその後の回復や
生死を分ける」と聞き、一次
救命処置の手順を確認しました。
署内の見学のほか、消防車の
搭載物なども見学。参加者は
「普段目にするこのない所が
見学できた。
処置の方法な
どとても勉強
になった」との
感想でした。
各消防署で
は、一般の方
でも講習を受
けられますの
でお問い合わせ
ください。



青壮年部



トウモロコシ 収穫体験

8月1日、くらやま保育園の
園児20名は、青壮年部蔵山支部
の盟友とトウモロコシ収穫を
体験しました。

園児たちは「何個採っていい
の」とたくさん採る気満々で、
暑さにも負けず収穫を楽しみ
ました。収穫後は園に戻って、
採りたてを試食しました。

青壮年部は、今後も地域活動
に貢献し、食農教育の推進を
図ります。



「比咩の米」 奉納登山

8月18日19日、白山登山を
行った青壮年部の盟友15名は、
白山比咩神社奥宮祈禱殿（24
50m）にJA白山特別栽培米
「比咩の米」60kgを奉納しました。
奉納登山は今回で2年目。
白山比咩神社を参った後、各自
が米2〜5kgを担ぎ登り祈禱殿
を参拝、19日は御前峰（2702
m）の頂にある奥宮にも米を
奉納しました。参加者は「白山
の恵みに感謝し五穀豊穡を祈つ
て登山した。御来光も望めた」
と成功を喜んでいました。



おしらせ



8月3日、営農センター2階会議室で秋野菜講習会を行いました。

営農経済部の前田部長の挨拶の後、講師の石川農林総合事務所の村濱さんより、圃場の土づくりや秋野菜の播種・定植の時期、管理について学びました。

参加したよらんかいねえ広場出荷者農園利用者からは、春野菜の失敗についての質問のほか、連作障害についての対策や暑い時期の栽培管理など多くの質問が寄せられ、活気ある講習会となりました。

よらんかいねえ広場出荷者農園
秋野菜講習会 開催



JA白山は、白山市が応援するこども食堂「地元応援隊」に登録を行い、8月9日、湊ふれあい交流センターで行われた「ばあちゃん食堂」へ米10kgを贈りました。

今年で2年目の同食堂は、湊地区3～6区の子ども会の子供55名が参加、児童のばあちゃんらが食事を提供しました。木戸口蝶屋支店長は「地元の農家に感謝して食べてほしい」と挨拶しました。

今後も「食と農」「地産地消」「地域活性化」の促進のため、地域活動に貢献します。

こども食堂へお米寄贈



営農経済部より事務所移転のお知らせ

10月9日(火)より営農経済部は、事務所・資材設置場所を本店に移転いたします。これに伴い、営農経済部では下記の休日営業を休業いたします。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

休業日(移転作業の為)

10月6日(土)

～8日(月・祝)の3日間

●移転後の営業について (10月9日(火)～)

- 営業時間：平 日 8:30～17:15
土日祝日 8:30～12:00(但し、11月～2月は休業します)
- 住 所：白山市井口町に62番地1
- 電話番号：営農経済部 076-273-5277 経済課 076-273-5213
- FAX番号：営農経済部 076-273-2758 経済課 076-273-2758



2018 JA白山 みんなのよい食プロジェクト

金沢中央卸売市場見学

8月2日、白山市立明光小学校児童11名、8日、一般公募の小学生12名が、金沢中央卸売市場で流通の仕組みを学びました。

青果市場では高級ブドウ「ルビーロマン」の競りを見学、その勢いと高値に圧倒されました。全国から集まった野菜や果物の取り扱いを見学した後、バナナセンターでは熟す前のバナナの色や硬さに驚きました。丸果石川中央

青果担当者からクイズ形式で市場の役割や仕入・出荷、自宅に届くまでの仕組みを教わり、流通や食と農について理解を深めました。



ブロッコリー苗 定植体験

8月20日、井口グリーンワークスの圃場で明光小学校の児童89名がブロッコリー苗の定植を体験しました。

営農担当者からブロッコリーの生育について説明を聞いた後、代表の北村真一さんに植え方の指導を受け、生産者や職員と一緒に等間隔につけられた印を頼りに植えました。児童たちは「大きく育ってほしい」と収穫を楽しみにしている様子でした。

11月頃には収穫体験も行います。定植のお礼と収穫までお世話をしていただくをお願いをし、体験を終了しました。



年金友の会

グラウンドゴルフ大会

8月2日、白山郷総合運動公園にて第12回「JA白山年金友の会グラウンドゴルフ大会」を開催しました。連日の猛暑の中、119名が熱戦を繰り広げました。

毎年好評のイベントで、会員の交流と親睦の場となっており、健康増進に一役かっています。会場には3カ所の給水ポイントを設け、一斉休憩タイムにはアイスを提供することで、体調を崩される方もなく無事に大会を終えました。

男女とも上位12名が、10月の第14回JAバンク石川「年金友の会グラウンドゴルフ県大会」に出場します。



【男性の部】

- 1位 中江川幸弘 (つるぎ)
- 2位 山内 健二 (つるぎ)
- 3位 高橋 良治 (つるぎ)



【女性の部】

- 1位 佐藤 政子 (つるぎ)
- 2位 野川 悦子 (手取)
- 3位 吉村 陸子 (大)





JA自己改革アンケートの中間報告 (前号続き)

アンケート対象
正組合員 

● 農業関連事業

Q1. 営農指導事業

農業栽培技術や経営支援など

Q2. 農畜産物販売事業

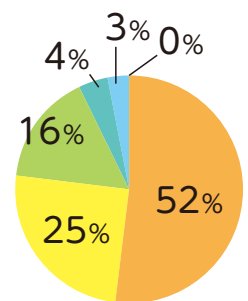
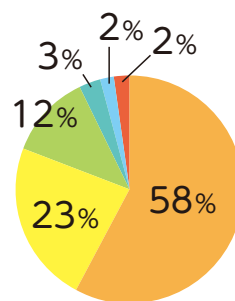
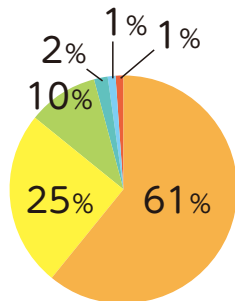
農畜産物の販売など

Q3. 生産資材購買事業

肥料や農機具等の販売など

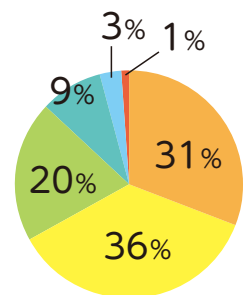
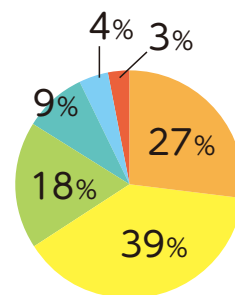
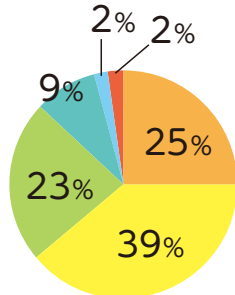
期待度

- 期待している
- やや期待している
- どちらかといえば、期待している
- どちらかといえば、期待していない
- あまり期待していない
- 期待していない



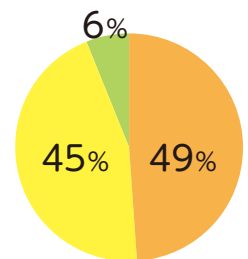
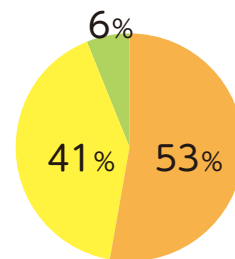
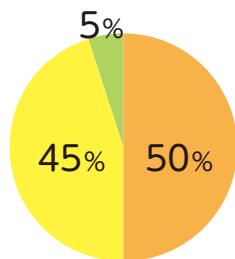
満足度

- 満足
- やや満足
- どちらかといえば、満足
- どちらかといえば、不満
- やや不満
- 不満



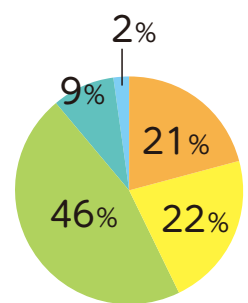
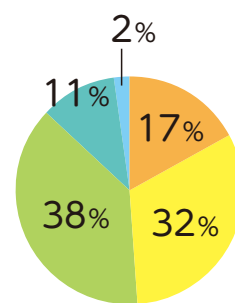
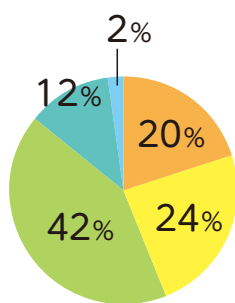
あなたのJAは生産資材購買事業において、よりよいサービスを提供できるよう努力していると思いますか？

- 努力している
- 少しは努力している
- 全く努力していない



3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- もともと良い
- 改善した
- 改善しつつある
- 悪化しつつある
- 悪化した



【お詫びと訂正】

前号（8月号）の記事「JA自己改革アンケート中期報告」において表示に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

● 3P中段「准組合員制度 Q3」

円グラフ項目表示誤り

正しくは右記のとおりです

[正]

- 阻害していない
- どちらかといえば、阻害していない
- どちらかといえば、阻害している
- 阻害している

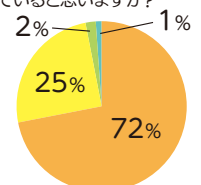
Q3.



准組合員のJA事業利用が、正組合員（農業者）が利用する農畜産物販売事業や生産資材購買事業の改善や拡大を阻害していると思いますか？

[誤]

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらかといえば思わない
- 思わない



平成30年産JA米仮渡金および出荷奨励金

(単位:円/俵当たり、税込)

銘柄	等級	県基準 仮渡金 A	仮渡金 加算金 B	仮渡金計 C (A+B)	出荷 奨励金 D	平成30年産 JA米仮渡金計 E (C+D)	平成29年産 JA米仮渡金計 F	差 異 E - F
コシヒカリ	1	12,906	200	13,106	100	13,206	12,600	606
	2	12,306		12,306	100	12,406	11,806	600
	3	11,206		11,206	100	11,306	10,706	600
ゆめみづほ	1	11,906	200	12,106	100	12,206	11,900	306
	2	11,306		11,306	100	11,406	11,106	300
	3	10,206		10,206	100	10,306	9,706	600
ひやくまん穀	1	12,906		12,906	100	13,006	12,306	700
	2	12,306		12,306	100	12,406	11,606	800
	3	11,206		11,206	100	11,306	9,706	1,600
五百万石 石川門	1	12,906		12,906	100	13,006	12,706	300
	2	11,406		11,406	100	11,506	11,106	400
	3	10,306		10,306	100	10,406	10,006	400
カグラモチ 白山もち	1	9,406		9,406	100	9,506	10,006	▲ 500
	2	8,806		8,806	100	8,906	9,306	▲ 400
	3	7,706		7,706	100	7,806	8,206	▲ 400

- ◆上記は県産米基金拠出者を対象とした県域共計概算単価であり、県産米基金の未拠出者は、拠出金見合い額として拠出者米穀より一律80円引きとする。
- ◆コシヒカリ1等、ゆめみづほ1等は仮渡金加算金として200円を加算し、共同計算における追加概算金及び最終精算額をもって精算する。
- ◆上記はJA米県域共計概算金であり、JA米とならない一般米については、JA米より一律300円引きとする。
- ◆水分15.6%~16.0%の米穀は一般米とする。また、出荷契約がない生産者が出荷する米穀についても一般米とする。
- ◆コシヒカリ1等で整粒80%以上かつ玄米タンパク6.5以下のものは、「特1等」として500円を加算する。
- ◆ミルキーQueenはコシヒカリに500円を加算する。
- ◆北陸12号は五百万石に1,080円を加算する。
- ◆酒米の特等については、1等に対し400円を加算する。
- ◆もち米について、出荷契約を超える場合は上記価格より1,000円引きとする。
- ◆フレコン出荷については上記価格より172円引きとする。
- ◆出荷奨励金は集荷向上対策事業のJA出荷等米に対して100円を支払いする。

平成30年産加工用米、政府備蓄米、輸出用米の一体的取組における仮渡金

(単位:円/俵当たり、税込)

等級	JA仮渡金 A	平成29年産 JA米仮渡金 B	差 異 A - B
1	11,370	10,460	910
2	10,770	9,860	910
3	9,770	8,860	910

◆フレコンは左記▲80円/俵

予 告

蝶屋
支店

秋の収穫感謝祭

in 蝶屋支店前広場

平成30年10月21日⑧ 9時~14時

農産物販売(地元野菜・新米)、模擬店、展示品、ふるまい(鍋・モチ)、アトラクション(園児による遊戯・演奏)、レクレーション(ストラックアウト・輪投げ)など、お楽しみいろいろ! 皆さまのご来場をお待ちしております。

その他の
イベントつるぎ支店・大神支店
手取支店 合同

収穫感謝祭

平成30年10月27日(土) JA白山本店駐車場 ※開催時間未定

※写真は昨年の様子

※イベント内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。





災害への備えは万全ですか？

地震や津波、記録的豪雨に河川の氾濫と、いつどこで起きるかわからない災害。役立つセットを準備しておきましょう。

非常持出しセット35点

15,000円(税抜)

【セット内容】

折りたたみウォーターバッグ30・タオル・すべり止め手袋・防災用ウェットティッシュ(20枚入)・ゴミ袋45ℓ(10枚入)・防寒シート・ミニダイナモラジオライト・ホイッスル・ブルーシート2畳用・非常用ローソクセット・ポリラップ(15cm×20m)・万能ナイフ・カンパン(約100g)・保存水(約500ml)・救急箱・ガーゼ(3枚入)・包帯・カット綿(3枚入)・救急絆創膏(2サイズ×3枚)・サージカルテープ・清浄綿(2枚入×3包)・ハサミ・ピンセット・毛抜き・緊急簡易トイレ袋・耳かき・レスキールイス(白米)・三角巾・スリッパ・布テープ・防災コンパクトガイド×各1、マスク・カイロ・ポケットティッシュ×各2



このセットは白山市「家庭用防災用品購入費助成金制度」の対象になります。

くわしい内容や申請方法等、白山市役所ホームページでお確かめください。

▶ www.city.hakusan.ishikawa.jp/soumubu/kikikanri/a.html

私たちの (平成30年7月末実績参考)

組合員数	6,847名(団体含)
貯金残高	71,656百万円
貸出金残高	16,743百万円
長期共済保有高	2,104.8億円
購買品供給高	721,560千円
販売品取扱高	131,821千円
職員数(パート除く)	139名

無料税務相談会 要予約



当JA顧問税理士
福田 正寛

開催日時

平成30年 9月25日(火)
平成30年 10月25日(木)

午前9時～12時(基本30分単位)

開催場所

JA 白山 本店

お問い合わせ・お申込先(担当/本店総務課 谷口)

TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。

